



2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月8日

上場会社名 株式会社クラウドワークス 上場取引所 東
コード番号 3900 URL <https://crowdworks.co.jp/>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 吉田 浩一郎
問合せ先責任者 （役職名） 取締役 （氏名） 月井 貴紹 (TEL) 03 (6450) 2926
半期報告書提出予定日 2025年5月8日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		売上総利益		営業利益		EBITDA (Non-GAAP)※	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年9月期中間期	11,199	37.9	4,733	28.5	793	14.1	1,181	37.0
2024年9月期中間期	8,122	32.0	3,684	26.5	695	30.2	862	35.1

（注）包括利益 2025年9月期中間期 310百万円（△41.1％） 2024年9月期中間期 526百万円（41.5％）

	経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益		1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	百万円	％	百万円	％	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	777	2.2	303	△36.5	19.22	19.07
2024年9月期中間期	761	32.3	477	25.8	30.78	30.51

※EBITDA（Non-GAAP）は、財務会計上の数値（GAAP、日本基準）から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものであり、当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。具体的には、株式報酬費用、減価償却費及びのれん償却費を中心に、当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	％	百万円	％	％
2025年9月期中間期	17,535		7,429		39.5
2024年9月期	13,537		7,304		50.8

（参考）自己資本 2025年9月期中間期 6,920百万円 2024年9月期 6,879百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2025年9月期	—	0.00			
2025年9月期（予想）			—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		売上総利益		営業利益		EBITDA (Non-GAAP)		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
通期	22,247	30.0	9,808	25.0	1,608	20.0	2,351	35.0	—	—	—	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 (社名) 株式会社インゲート、株式会社CLOOK・IT、除外 1社 (社名) 株式会社蒼天

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年9月期中間期	15,792,759株	2024年9月期	15,753,559株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年9月期中間期	185株	2024年9月期	169株
-------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数 (中間期)

2025年9月期中間期	15,785,282株	2024年9月期中間期	15,525,683株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、本書提出日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、賃上げの進展やインバウンド需要の回復を背景に、個人消費等の持ち直しの動きが見られ、緩やかに回復しています。一方で、グローバル経済の急激な変動の影響を受け、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

労働市場においては、構造的な人手不足の深刻化の影響を受け、企業は人材確保の課題に直面しています。こうした背景から企業は、業務効率化・生産性向上に迫られており、DX(デジタル・トランスフォーメーション)推進やAIの利活用に関する需要が拡大しています。一方、個人の働き方においては、従来の終身雇用・年功序列を主とした労働構造に変化が見られ、自律的なキャリア選択やライフステージに応じた多様な働き方が加速しています。政府としても、フリーランスを企業と同じ「独立した意思のある存在」として認める「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」を2024年11月に施行しました。

このような社会・経済環境のもと、当社グループは「個のためのインフラになる」をミッション、「人とテクノロジーが調和する未来を創り、個の幸せと社会の発展に貢献する」をビジョンとして掲げ、フリーランス人材を中心とした人材マッチングサービス及び企業の生産性を向上するDX・AIソリューションを展開しています。昨今の状況は当社グループにとって追い風であり、2025年3月末時点で登録ユーザー数は705.1万人(前年同期比+72.5万人)、登録クライアント数は103.7万社(前年同期比+6.3万社)となりました。また、中期経営目標

「YOSHIDA300」において掲げる、売上高300億円、EBITDA(Non-GAAP)25億円、営業利益成長率+10%以上(通期)の実現に向け、既存事業の成長並びにSaaS事業を含む新規事業の拡大、M&Aに引き続き注力してまいります。

既存事業の主軸であるマッチング事業においては、コンサルティング人材が経営課題を特定し、課題解決のためにフリーランス人材による業務改善チームを組成・提供するDXコンサル事業の提供を本格的に推進しております。また、当社事業間の営業顧客連携データベースを強化し、クロスセルを通じた顧客1社あたりの単価向上に努めています。

ビジネス向けSaaS事業においては、従業員の工数を可視化する生産性向上SaaS「クラウドログ」の導入が大企業や成長企業を中心に進んでいます。また、入力された従業員の工数データを元に、当社コンサルティングチームが、従業員が行う必要のないノンコア業務を特定し、アウトソーシングやDX化を促す提案も行っております。

M&Aにおいては、当社のマッチング事業及びビジネス向けSaaS事業との親和性が高い事業への投資について、規律をもって進めています。2024年に子会社化した株式会社インゲート、株式会社CLOCK・IT、株式会社ソニックムーブが持つDX推進の知見を、DXソリューションとして顧客に提案いたします。また、グループイン企業のPMIは順調に推移しており、全社の成長に貢献しています。

以上の結果、当中間連結会計期間の当社グループの業績は、売上高11,199,766千円(前年同期比37.9%増)、売上総利益は4,733,760千円(前年同期比28.5%増)、営業利益は793,498千円(前年同期比14.1%増)、EBITDA(Non-GAAP)は1,181,907千円(前年同期比37.0%増)、経常利益は777,714千円(前年同期比2.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は303,344千円(前年同期比36.5%減)となりました。

セグメント業績については、次のとおりであります。

① マッチング事業

売上高は10,598,237千円(前年同期比36.2%増)、売上総利益は4,179,760千円(前年同期比24.7%増)、セグメント利益は821,002千円(前年同期比14.9%増)となりました。

② ビジネス向けSaaS事業

売上高は537,952千円(前年同期比83.8%増)、セグメント利益は6,637千円(前年同期のセグメント損失は59,372千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は17,535,406千円となり、対前期末比で3,998,324千円増加いたしました。流動資産は対前期末比で1,646,553千円の増加となり、その主な内訳は、現金及び預金が1,050,585千円、売掛金及び契約資産が512,786千円が増加したものであります。固定資産は対前期末比で2,351,770千円の増加となり、その主な内訳は、のれんが2,301,289千円増加したものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は10,106,360千円となり、対前期末比で3,873,738千円増加いたしました。流動負債は対前期末比で995,108千円の増加となり、その主な内訳は、短期借入金が429,707千円、未払金が406,210千円、未払法人税等が148,841千円、預り金が45,228千円増加したものであります。固定負債は対前期末比で2,878,629千円の増加となり、その主な内訳は、長期借入金が2,869,070千円増加したものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は7,429,046千円となり、対前期末比で124,585千円増加いたしました。その主な内訳は、親会社株主に帰属する中間純利益303,344千円及び剰余金の配当283,561千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の業績予想につきましては、2024年11月5日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,960,365	7,010,951
売掛金及び契約資産	1,607,772	2,120,558
未収入金	941,949	968,466
その他	344,016	401,597
貸倒引当金	△26,458	△27,373
流動資産合計	8,827,646	10,474,200
固定資産		
有形固定資産	43,575	34,366
無形固定資産		
のれん	2,081,229	4,382,519
その他	3,859	2,116
無形固定資産合計	2,085,088	4,384,636
投資その他の資産		
投資有価証券	1,952,023	1,914,923
その他	634,726	736,371
貸倒引当金	△5,978	△9,091
投資その他の資産合計	2,580,771	2,642,203
固定資産合計	4,709,436	7,061,206
資産合計	13,537,082	17,535,406
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,432,225	1,861,932
未払金	1,260,199	1,666,410
未払法人税等	318,412	467,254
契約負債	558,841	502,375
預り金	1,283,218	1,328,446
その他	681,558	703,146
流動負債合計	5,534,455	6,529,564
固定負債		
長期借入金	601,508	3,470,578
その他	96,658	106,218
固定負債合計	698,166	3,576,796
負債合計	6,232,622	10,106,360
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,784,693	2,801,351
資本剰余金	2,889,136	2,905,794
利益剰余金	1,165,598	1,185,381
自己株式	△237	△262
株主資本合計	6,839,190	6,892,265
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,412	28,622
その他の包括利益累計額合計	40,412	28,622
新株予約権	316,241	380,775
非支配株主持分	108,616	127,382
純資産合計	7,304,460	7,429,046
負債純資産合計	13,537,082	17,535,406

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	8,122,123	11,199,766
売上原価	4,437,387	6,466,005
売上総利益	3,684,735	4,733,760
販売費及び一般管理費	2,989,391	3,940,261
営業利益	695,343	793,498
営業外収益		
預り金失効益	34,814	35,336
助成金収入	38,047	—
保険解約返戻金	—	23,834
為替差益	—	7,181
その他	11,770	9,713
営業外収益合計	84,632	76,066
営業外費用		
支払利息	3,289	27,085
支払手数料	—	37,968
持分法による投資損失	—	16,870
その他	15,477	9,925
営業外費用合計	18,766	91,850
経常利益	761,209	777,714
特別利益		
新株予約権戻入益	11,438	778
特別利益合計	11,438	778
税金等調整前中間純利益	772,648	778,492
法人税等	279,560	456,381
中間純利益	493,088	322,110
非支配株主に帰属する中間純利益	15,168	18,766
親会社株主に帰属する中間純利益	477,920	303,344

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
中間純利益	493,088	322,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,570	△11,790
その他の包括利益合計	33,570	△11,790
中間包括利益	526,659	310,320
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	511,490	291,554
非支配株主に係る中間包括利益	15,168	18,766

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	772,648	778,492
減価償却費	15,628	41,683
のれん償却額	85,395	274,644
株式報酬費用	66,602	72,316
持分法による投資損益(△は益)	—	16,870
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,424	3,233
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△95,619	△50,889
未収入金の増減額(△は増加)	△47,666	△26,676
未払金の増減額(△は減少)	41,613	25,998
契約負債の増減額(△は減少)	△17,633	△56,466
預り金の増減額(△は減少)	16,077	34,739
その他	△15,694	△127,259
小計	813,927	986,688
利息及び配当金の受取額	24	3,110
利息の支払額	△3,289	△27,085
法人税等の支払額	△68,998	△341,787
営業活動によるキャッシュ・フロー	741,664	620,926
投資活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△84,605	△2,347,185
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	30,486	—
その他	△20,925	△134,282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75,044	△2,481,467
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	3,485,000
長期借入金の返済による支出	△23,406	△290,681
株式の発行による収入	7,119	26,313
配当金の支払額	—	△283,561
その他	△51	△5,025
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,338	2,932,045
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	650,281	1,071,504
現金及び現金同等物の期首残高	5,734,898	6,114,835
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	100,884	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,486,063	7,186,339

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下、「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、中間連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	マッチング	ビジネス向け SaaS	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	1,079,790	18,710	1,098,500	—	—	1,098,500
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	6,704,231	274,038	6,978,269	8,134	—	6,986,404
顧客との契約から生じる収益	7,784,021	292,748	8,076,770	8,134	—	8,084,905
その他の収益	—	—	—	37,218	—	37,218
(1) 外部顧客への売上高	7,784,021	292,748	8,076,770	45,352	—	8,122,123
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	105	105	—	△105	—
計	7,784,021	292,853	8,076,875	45,352	△105	8,122,123
セグメント利益又は損失(△)	714,492	△59,372	655,120	40,223	—	695,343

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

マッチング事業セグメントにおいて、株式会社ユウクリの株式を取得し、同社を子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間においては169,016千円であります。

ビジネス向けSaaS事業セグメントにおいて、株式会社蒼天の株式を取得し、同社を子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間においては126,437千円であります。

当中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	マッチング	ビジネス向け SaaS	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	1,057,169	9,850	1,067,019	47,376	—	1,114,395
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	9,541,068	528,102	10,069,170	16,200	—	10,085,370
顧客との契約から生じる収益	10,598,237	537,952	11,136,190	63,576	—	11,199,766
その他の収益	—	—	—	—	—	—
(1) 外部顧客への売上高	10,598,237	537,952	11,136,190	63,576	—	11,199,766
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,433	315	2,748	—	△2,748	—
計	10,600,671	538,267	11,138,938	63,576	△2,748	11,199,766
セグメント利益又は損失(△)	821,002	6,637	827,639	△34,141	—	793,498

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

マッチング事業セグメントにおいて、株式会社インゲートの株式を取得し、同社を子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間においては1,574,102千円であります。

マッチング事業セグメントにおいて、株式会社CLOCK・ITの株式を取得し、同社を子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間においては1,001,831千円であります。